

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

「10年後の未来を考える 総合診療医・家庭医の実情と今後」

①「10年後の未来における家庭医と薬剤師の可能性を考える」

②「チーム医療での薬剤師の役割」

③「読まれる！ トレーシングレポートの書き方」

④「家庭医・総合診療医による Common disease のみかた」

(2019年2月11日 月曜日・建国記念の日)東京開催

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得いたしております。】

今回は4名の家庭医療専門医を講師に「10年後の未来」を考えながら、AIや役割、チーム医療、トレーシングレポート、Common diseaseのみかたをご講演頂きます。2025年問題の医療を担う4名の医師からなにを学びとり、参加薬剤師として講師に何を伝えられるか、医療の未来を考えます。詳細はプログラムを参照の上、奮ってご参加ください。

(細則による必須領域： A, C, D, I, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会、生涯学習委員会
2	研修開催日	平成31年2月11日(月曜日・建国記念の日)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 2階2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目6番2号 アーバンネット神田ビル2階 案内図 http://kanda-c.jp/access.html
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	72名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成31年1月31日(木)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受け付けておりません。
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は9,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp		

プログラム

「10年後の未来を考える 総合診療医・家庭医の実情と今後」

AI(Artificial Intelligence)の時代が叫ばれる中で、診断に関しては今後 AI がその場を医師に変わって担う時代が来ると言われる。そのため医療職の間はより Seamless な役割になっていく可能性がある。

そのような時代背景の中で、家庭医・総合診療医の日常を知ることは、薬剤師の先生方の日常業務に大いに役立つと考えられる。今回ジェネラリストの中でも総合診療医・家庭医とはどのような業務を行っているか、どのような特徴があるかを共有し、理解していただく。

2019年2月11日(月・建国記念の日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>①「 10年後の未来における家庭医と薬剤師の可能性を考える 」</p> <p style="text-align: right;">講師：遠井 敬大</p> <p>時代は急激な変化をとげ、現在存在する多くの職業が10年後現状の形から大きく変わる可能性が示唆されている。多くの職業がAI(Artificial Intelligence)によって人から機械へと変わる中で、医療職も例外なくその存在価値を見直される可能性がある。超高齢化社会を迎える日本で、家庭医・薬剤師は今後どのような役割を担っていけばよいのか。今回のWSを通して未来の皆さんの働き方に関して考える機会としていきたい。</p> <p>(細則による必須領域： A,C,D,I,J)</p>
11:00～12:30	<p>②「 チーム医療での薬剤師の役割 」</p> <p style="text-align: right;">講師：小松 亮</p> <p>薬学部が6年制となり、専門職連携教育(Interprofessional Education : IPE)を受けた薬剤師が臨床の場に出てきている。しかし、実際の医療現場では専門職連携(Interprofessional work : IPW)は上手くいっているだろうか？今回のワークショップでは、チーム医療をコミュニケーションエラーやリーダーシップの観点から見直し、実臨床における薬剤師の役割や日頃の悩みについて皆さんとディスカッションをしていきたい。</p> <p>(細則による必須領域： A,C,I,J)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自お取りください)
13:20～14:50	<p>③「 読まれる！ トレーシングレポートの書き方 」</p> <p style="text-align: right;">講師：齋木 啓子</p> <p>調剤報酬で評価されたこともあり、着実に普及しつつあるトレーシングレポートだが、いざ取り組むとなると、どう書けば良いのか悩んでしまう人も多いだろう。</p> <p>今回のワークショップでは、事例検討を通して、医師に読まれるトレーシングレポートを書くコツを、皆さんと一緒に追求したいと思う。</p> <p>(細則による必須領域： A,C,I,J)</p>
15:00～16:30	<p>④「 家庭医・総合診療医による Common disease のみかた 」</p> <p style="text-align: right;">講師：柴原 智文</p> <p>私たちが頻度の高い健康問題に対して、普段どのような診療をしているかご存じですか？問診から始まり、身体診察・臨床推論・診断・療養指導・処方に至るまで、診療の一連の流れを通して、</p>

家庭医・総合診療医のアタマの中を皆さんと共有することで、今後のよりよい連携につながることを期待しています。

(細則による必須領域: A,D,I,J)

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

(敬称略)

医療経営コミュニティ TSUKINO WA KAI

遠井 敬大(とおい たかひろ) 東京医大総合診療科、
日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医

小松 亮(こまつ りょう) 松島医療生活協同組合 松島海岸診療所、
日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医

齋木 啓子(さいき けいこ) ふれあいファミリークリニック院長、
日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医

栄原 智文(さかえばら ともふみ) 東京勤労者医療会東葛病院 総合診療科、
日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医